

Ⅱ 平成28年度当初予算の特徴

※ 2月補正予算で計上した事業も一部含めて記載しています。

県内経済の活性化

《オリンピック・パラリンピックを契機とした活性化》

東京オリンピック・パラリンピックの**事前キャンプ**や**国際競技大会の誘致**に向け、競技団体等と連携してプロモーションを行うとともに、キャンプでの使用が想定される**総合スポーツセンター武道館の空調設備**や**野球場の耐震改修等**を進めます。

また、**市町村等が行うキャンプ誘致**の支援については、ワンストップ相談窓口やモデルキャンプに対する補助、競技場等の改修経費の無利子貸付等を行います。

外国人観光客の受け入れ体制を強化するため、観光施設や商店街の**おもてなし力の向上**を図るとともに、**観光案内板の整備**や、**公衆無線LANの整備等**を促進していきます。また、平成27年度に実施しているSNSを活用したニーズ調査を踏まえ、**国ごとの嗜好性を踏まえた県内周遊コースを作成**し、誘客を図ります。

オリンピック・パラリンピック出場を目指す**アスリートの強化・支援事業**については、特に出場が期待される選手の強化に重点化していきます。

東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議事業	22,000千円(別冊8頁)
オリンピック・パラリンピック普及・教育推進事業	17,000千円(別冊9頁)
キャンプ・国際大会誘致・受入事業【一部新規】	26,000千円(別冊10頁)
国際スポーツ競技大会支援事業	10,000千円(別冊10頁)
総合スポーツセンター武道館空調設備等整備事業	425,000千円(別冊11頁)
総合スポーツセンター野球場耐震・大規模改修事業	7,000千円(別冊12頁)
	(債務負担行為 55,000千円)
千葉県スポーツコンシェルジュ運営事業	24,500千円(別冊10頁)
パラリンピック選手のキャンプ受入体制整備事業補助金	18,000千円(別冊10頁)
東京オリンピック・パラリンピック関連施設に関する貸付事業	
特別会計市町村振興資金	300,000千円(別冊13頁)
海外観光ゲストへのおもてなし力向上事業	10,000千円(別冊14頁)
訪日観光客商店街おもてなし事業	10,000千円(別冊14頁)
東京オリンピック・パラリンピックに向けた受入体制の整備事業	11,500千円(別冊15頁)
外国人観光客誘致のための公衆無線LAN環境整備事業	100,000千円(別冊16頁)
通訳ボランティア養成事業	7,000千円(別冊15頁)

国ごとの嗜好性を踏まえた周遊コースの作成及びプロモーション事業【新規】

15,000 千円（別冊 17 頁）

東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業 115,000 千円（別冊 18 頁）

《魅力発信》

10月23日に「ちばアクアラインマラソン」を開催するとともに、大会を契機に千葉の魅力为全国に発信するため、**宿泊優待券の配布**やPRイベントを実施します。

また、従来の観光キャンペーンにあわせ、**成田空港と県内各地を結ぶ高速バス**の運行や、**県内周遊鉄道フリー切符**の発売、**道路公社所管の有料道路の無料開放**、**東京湾での大型クルーザー船運航**など、交通インフラを最大限に活用して、県内での**宿泊・滞在型観光**を促進するほか、圏央道の茨城県区間の開通にあわせた**北関東や南東北からのバスツアー優待**プロモーションの実施、**東京都内での期間限定アンテナショップ**の設置などにより、県外からの誘客を強化していきます。

観光施設等のトイレ改修については、**補助率の引き上げ**を継続して民間施設での整備を促進するとともに、自然公園など**県有施設のトイレ改修・洋式化**も進め、観光地の魅力向上を図ります。

移住・定住の促進のため、都内の「ふるさと暮らし情報センター」において、セミナーを開催するとともに、農作業体験や、里山体験、観光産業等でのしごと体験など、千葉の魅力を実感できるさまざまなモニターツアーを実施します。また、「地域しごと支援センターちば」において、県内への転職先だけでなく、住宅、医療、教育など、暮らし全般に関わる情報を一体的に提供していきます。

また、**海外**に向けては、アジアを中心として、経済ミッション団の派遣や現地での千葉県フェア、現地メディアを活用した情報発信などを通じて、**農林水産物の販路拡大**や**外国人観光客、訪日教育旅行の誘致**を図っていくとともに、今後も、本県の強みを活かした施策を展開していくための方向性を示す**国際戦略を策定**していきます。

東京湾アクアライン料金割引事業 500,000 千円（別冊 19 頁）

ちばアクアラインマラソン開催事業 120,000 千円（別冊 20 頁）

マラソンランナー優待キャンペーン 20,000 千円（別冊 21 頁）

ちばアクアラインマラソン開催に伴うPR事業 40,000 千円（別冊 22 頁）

観光プロモーション事業 81,825 千円（別冊 23 頁）

成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業 46,875 千円（別冊 24 頁）

（地方創生加速化交付金事業 2月補正分）

鉄道を活用した周遊観光プロモーション事業【新規】 60,000 千円（別冊 25 頁）

（地方創生加速化交付金事業 2月補正分）

千葉県道路公社有料道路の無料開放 398,000 千円（別冊 26 頁）

※実施期間：平成 28 年 9～11 月（金・土・日・祝日）を予定

（地方創生加速化交付金事業 2月補正分）

東京湾ツーリズム旅客船運航実証実験事業【新規】 (地方創生加速化交付金事業 2月補正分)	20,000千円 (別冊 27頁)
宿泊・滞在型観光推進事業	40,000千円 (別冊 28頁)
北関東・南東北地域や近都県からの観光誘客プロモーション事業	16,500千円 (別冊 29頁)
期間限定アンテナショップ事業	20,000千円 (別冊 30頁)
観光地魅力アップ整備事業	300,000千円 (別冊 31頁)
県立施設トイレ改修事業	249,924千円 (別冊 32頁)
移住・定住促進事業 (地方創生加速化交付金事業 2月補正分を含む)	95,858千円 (別冊 33頁)
地域しごと支援センターちば事業 (地方創生加速化交付金事業 2月補正分)	30,000千円 (別冊 34頁)
外国人観光客向けプロモーション事業	31,032千円 (別冊 35頁)
世界に向けた千葉の魅力発信事業	45,700千円 (別冊 36頁)
海外メディアを活用した観光情報発信事業	24,600千円 (別冊 37頁)
「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業	34,000千円 (別冊 38頁)
訪日教育旅行誘致事業	30,300千円 (別冊 39頁)
(仮称) 千葉県国際戦略策定事業【新規】	9,031千円 (別冊 40頁)

《中小企業への支援》

中小企業の積極的な設備投資等を支えるため、**中小企業振興資金**の融資枠5,700億円を継続するとともに、今後、市場拡大が見込まれる**健康・医療分野産業**に参入する**中小企業への支援を拡充**し、製品開発や共同研究をサポートしていきます。

また、県内の中小企業が都市圏の大企業の**プロフェッショナル人材を活用**して経営改善を図っていく取組を支援します。

中小企業振興資金	190,000,000千円 (融資枠5,700億円) (別冊 41頁)
地域連携による健康・医療ものづくり推進事業 (地方創生加速化交付金事業 2月補正分)	56,000千円 (別冊 42頁)
プロフェッショナル人材戦略拠点事業 (地方創生加速化交付金事業 2月補正分)	52,000千円 (別冊 34頁)
プロフェッショナル人材確保事業補助金	10,000千円 (別冊 34頁)

《産業振興》

茂原にはる工業団地及び袖ヶ浦椎の森工業団地について、引き続き造成工事を進めるとともに、早期分譲に向け、現地見学会を開催します。

また、国内主要都市におけるトップセミナーなどで**企業誘致**を強力に進めるとともに、地域の企業、農業団体、住民等が連携して、地域の潜在力を活かした、新たな商品・サービスを創出する取組に支援を行い、**地域産業の活性化**を図っていきます。

近年音楽イベント等により稼働率が好転している**幕張メッセ**については、今後の更なる競争力の強化のため、**大規模改修**に着手します。

特別会計工業団地整備事業	3,152,000 千円 (別冊 43 頁) (債務負担行為 764,000 千円)
戦略的企業誘致の推進	18,300 千円 (別冊 44 頁)
立地企業補助金	500,000 千円 (別冊 45 頁)
千葉のポテンシャルを活かした地域産業活性化事業	40,000 千円 (別冊 46 頁)
幕張メッセ大規模改修事業【新規】	
特別会計日本コンベンションセンター国際展示場事業	71,600 千円 (別冊 47 頁) (債務負担行為 299,000 千円)

《雇用》

雇用情勢をさらに好転させるため、「**ジョブカフェちば**」、「**千葉県ジョブサポートセンター**」において、若者、中高年者、子育て中の女性などに、きめ細やかな就労支援を行うとともに、**中小企業の人材確保と学生等の地元就職**を図るため、新たに、県内の高校、大学と企業が連携し、インターンシップやキャリア教育など、相互交流を行う取組に助成を行います。

また、**障害者の雇用拡大**を進めるため、障害者雇用に取り組む企業に対し、就労を希望する障害者とのマッチングや雇用後のフォローアップ支援等を行います。

その他、新たに、**ひとり親家庭の親**が国家資格を取得するための**就学資金等の貸付**を行います。

ジョブカフェちば運営事業	136,283 千円 (別冊 48 頁)
千葉県ジョブサポートセンター事業	35,258 千円 (別冊 48 頁)
中小企業人材採用サポート事業【新規】	20,000 千円 (別冊 49 頁)
障害者雇用サポート事業	35,000 千円 (別冊 50 頁)
ひとり親家庭高等職業訓練促進事業【一部新規】	189,747 千円 (別冊 51 頁)

農林水産業の振興と社会基盤づくり

《TPPへの対応》

環太平洋経済連携協定（TPP）の発効に備え、本県農林水産業の競争力を強化し、「農林水産王国・千葉」の復活を目指していきます。

○経営体の規模拡大

経営体の規模拡大を図るため、**農地中間管理機構の体制を強化**するとともに、**耕作放棄地の再生への支援や土地改良事業を拡充**し、農地の集積を進めていきます。

また、**農業経営の法人化**に対する支援も増額します。

農地集積加速化促進事業	413,000千円（別冊52頁）
耕作放棄地総合対策事業	91,600千円（別冊53頁）
土地改良事業	15,173,180千円（別冊54頁）
農業経営の法人化等支援事業	10,000千円（別冊55頁）

○品質向上・輸出促進

県産農林水産物の競争力強化のため、新たに、生産者等が産地や地域ぐるみで、工程管理の確立など、**品質の向上**等を図る取組を助成するとともに、新品種の開発等を進めるため、**千葉県農林総合研究センター**の建替に向け**実施設計**を行います。また、海外販路の拡大を図るため、**輸出に取り組む生産者に対する支援**を大幅に拡充します。

ちばの農林水産物品質向上推進事業【新規】	10,000千円（別冊56頁）
農林総合研究センター再編整備事業	69,859千円（別冊57頁）
「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業〔再掲〕	34,000千円（別冊38頁）

○稲作

飼料用米の需要増に対応するとともに、米価の安定を図り稲作農家の経営を支援するため、**主食用品種を飼料用に転換する場合の県の助成単価を2倍**に引き上げます。また、産地間競争力の強化のため、**米の共同乾燥施設に対する助成を拡充**します。

飼料用米等拡大支援事業	239,000千円（別冊58頁）
農産産地支援事業	450,000千円（別冊59頁）

○畜産

肉用牛のブランド力の向上のため、**県産和牛を増頭**する取組に対する支援を拡充します。また、新たに、酪農家等が**生乳生産量の増量や乳牛の増頭**を図る取組に助成を行うとともに、畜産農家、酪農協、市町村等が一体となって**高収益型の畜産経営体制を構築**する取組に対する助成を大幅に拡充します。

その他、**養豚農家の経営安定化**のため、豚肉価格の安定化を図る事業に対し支援を行います。

肉用牛ブランド力向上対策事業	10,450千円（別冊60頁）
ちばの酪農増産支援事業【新規】	22,500千円（別冊61頁）
畜産競争力強化対策整備事業	580,000千円（別冊62頁）
肉豚生産安定対策事業	76,000千円（別冊63頁）

○園芸

引き続き、**産地間連携による規格の統一**を進め、県産野菜の市場におけるシェアを拡大することにより競争力の強化を図ります。さらに、生産力強化のため**パイプハウス等の施設整備への助成**を行うとともに、養液栽培システムなど**収益力の向上に必要な施設整備に対する支援**を行います。

ちばの園芸産地活性化支援事業	25,000千円（別冊64頁）
新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業	300,000千円（別冊65頁）
園芸産地競争力強化総合対策事業	882,000千円（別冊66頁）

○林業・水産

林業事業体の経営基盤の強化を図るため、新たに高性能機械のレンタルや人材育成費用に対する助成を行うほか、漁業協同組合等が、**収益力向上のために行う共同加工施設の整備等に対する支援**を大幅に増額し、水産業の競争力強化を図ります。

森林・林業担い手確保・育成対策事業【新規】	35,758千円（別冊67頁）
浜の活力再生プラン推進支援事業	190,392千円（別冊68頁）

《6次産業化》

6次産業化を促進するため、新商品の開発等に必要な施設設備の整備に対する支援を行います。平成28年度は、新たに、**梨の剪定枝を有効活用**し、化粧品等への商品化を目指す研究に対する支援を行います。

6次産業化推進事業	251,000千円（別冊69頁）
梨の剪定枝を活用した新商品開発・産地活性化事業【新規】 （地方創生加速化交付金事業 2月補正分）	20,000千円（別冊70頁）

《野生鳥獣被害対策》

イノシシなどの**野生鳥獣による農業被害等の防止**を図るため、市町村などが行う捕獲事業や防護柵の設置に対する助成を行うとともに、県も、自動撮影カメラによる生息状況調査や捕獲を行うことにより生息域の拡大を防止します。

また、新たに、ジビエ料理提供飲食店の拡大を図ることで、**有害獣を地域資源**として有効活用する取組を行います。

野生鳥獣総合対策事業	325,703千円（別冊71頁）
イノシシ等有害獣被害防止対策事業	210,000千円（別冊72頁）
「房総ジビエ」活用普及事業【新規】	15,000千円（別冊73頁）

《道路整備》

県民生活の利便性の向上を図り、県内経済の活性化や観光振興を支える**道路ネットワークの整備を拡充**します。

特に、**圏央道大栄～横芝間の用地取得**を強化するとともに、**北千葉道路の市川市～鎌ヶ谷市間**については、早期事業化のため、県で行う**環境アセスメント関連調査やバイパスの用地取得を増額**します。

さらに、交通渋滞の緩和のため、新京成線や東武野田線との**立体交差事業を拡充**するとともに、各地域における**バイパスの整備や道路冠水対策事業も増額**します。

これにより、平成28年度は、北千葉道路東側区間、久留里馬来田バイパス、八街バイパスの一部区間において供用開始を予定しています。

道路ネットワーク事業	60,608,474千円（別冊74頁） （債務負担行為 24,846,000千円）
渋滞・冠水対策	12,218,100千円（別冊75頁） （債務負担行為 18,590,000千円）

《地域防災力の向上》

首都直下地震などに備え、**消防団の活性化や自主防災組織の育成**、帰宅困難者対策・津波避難対策等の**避難環境の整備**など、市町村が行う自助・共助の取組を幅広く支援するとともに、**地震被害に対する事前の備えや発災時の対処法**などをわかりやすくまとめたパンフレットを新聞折り込み等により配布し、各家庭での自助の取組も促進していきます。

また、災害復旧の迅速化に役立つ**地籍調査**については、市町村への助成を大幅に拡充して促進していきます。

その他、消防職員・団員への教育・訓練や、自主防災組織等の研修の場である**消防学校・防災研修センター**については、平成31年度の供用開始に向け、建築工事に着手します。

千葉県地域防災力向上総合支援補助金	150,000千円（別冊76頁）
消防団参画促進事業	2,547千円（別冊77頁）
地震被害想定・減災対策広報事業【新規】	24,320千円（別冊78頁）
地籍調査事業	1,125,387千円（別冊79頁）
消防学校・防災研修センター整備事業	845,447千円（別冊80頁） （継続費 11,873,000千円）

《公共施設の防災対策》

九十九里海岸・沿岸河川の津波対策として進めている、有料道路や堤防のかさ上げについては、事業費を大幅に増額して整備を推進していきます。また、近年全国各地で多発している大規模な**洪水・高潮**被害に備え、**浸水想定区域図**の作成等に着手するほか、**土砂災害警戒区域の指定**に必要な基礎調査については、予算を大幅に増額して、予定を1年前倒しし、平成30年度までに完了させます。

河川海岸津波対策事業	8,199,500千円（別冊81頁） （債務負担行為 1,253,000千円）
洪水・高潮浸水想定区域図作成事業【新規】	51,500千円（別冊82頁）
土砂災害警戒対策事業	438,000千円（別冊83頁）

《施設の耐震化・長寿命化》

私立学校、鉄道施設や医療施設の耐震化の助成を継続するとともに、衛生研究所の建替や健康福祉センター、警察施設、橋りょうなど、**県有施設・インフラの耐震化**を進めるほか、新たに、避難所に指定されるなど、**防災上重要なホテル・旅館等民間施設の耐震改修に対する補助制度を創設**します。

また、道路・河川管理施設、公園、農業水利施設、漁港などの老朽化対策として、**計画的な修繕・改修**を進めていきます。特に道路については、**舗装修繕**や、除草などの**環境美化**、トンネルや橋りょうの**点検**事業の予算を増額し、交通環境の一層の向上を図ります。

私立学校耐震化緊急促進事業	940,000千円（別冊84頁）
鉄道施設耐震対策事業補助	396,221千円（別冊85頁）
医療施設耐震化整備促進事業	125,000千円（別冊86頁）
県有施設・インフラの耐震化の推進	4,346,037千円（別冊87頁）
衛生研究所、市原健康福祉センター、橋りょう、農業水利施設	
住宅・建築物耐震化サポート事業【一部新規】	132,000千円（別冊88頁）
施設の長寿命化の推進	14,506,832千円（別冊89頁）
橋りょう、道路、河川管理施設、海岸保全施設、都市公園、県営住宅、流域下水道	
港湾、農業水利施設、漁港施設、県立学校	
うち舗装道路修繕事業	5,900,000千円
道路環境美化事業	1,652,870千円（別冊90頁）
道路施設点検事業	662,000千円（別冊91頁）

《防犯対策等の強化》

県・市町村・警察・住民の連携により防犯体制を構築する**防犯ボックス**については、県が設置した4ヶ所の運用に加え、県内に広く普及していくため、**市町村が設置する場合の補助制度**を創設します。また、依然として被害が跡を絶たない、**電話 de 詐欺**の防止対策として、コールセンターを通じた呼びかけなど**広報啓発を強化**します。

ひったくり等の対策を強化するため、市町村が行う**防犯カメラ**の設置等に対する支援を継続するほか、千葉北警察署長沼交番管内の事件・事故が多くなっていることから、新たに**（仮称）山王交番を設置**します。

また、**自転車**の危険走行による問題が多発していることから、新たに**中高生を対象とした人気アニメとのコラボレーションによる安全走行の啓発**を行います。

その他、自動車盗などの犯罪防止に効果がある、**ヤード適正化条例に基づく立入検査**を継続します。

防犯ボックスを核とした地域防犯力・コミュニティ力向上事業	61,525 千円 (別冊 92 頁)
「電話 de 詐欺」被害防止広報・啓発事業	149,000 千円 (別冊 93 頁)
市町村防犯カメラ等設置事業補助	40,000 千円 (別冊 94 頁)
地域の防犯力アップ補助事業	8,000 千円 (別冊 95 頁)
交番・駐在所整備事業	163,393 千円 (別冊 96 頁)
自転車安全利用推進・教育事業	26,500 千円 (別冊 97 頁)
ヤード対策事業	5,776 千円 (別冊 98 頁)

子ども・子育て世代への支援の充実

《子育て環境の充実》

子育て環境の向上を図るため、民間保育所や小規模保育事業、延長保育・病児保育・一時預かりなど多様な保育ニーズに対する運営費の支援を充実するとともに、施設整備についても、新たに事業所内保育所に対する県単補助を行うなど支援を拡充し、平成27年度を上回る整備を進め、待機児童の解消を図ります。

また、不足している保育士の確保のため、国基準を上回る保育士配置に対する県単補助を拡充するとともに、養成施設に対する支援も充実します。

その他、放課後児童クラブや放課後子供教室への支援も増額し、地域における子育て支援体制の強化を図ります。

子ども医療費については、入院は中学校3年生まで、通院は小学校3年生までの助成を継続します。

また、子育ての不安解消のため、保健師等がすべての妊婦を訪問し相談に応じることができるよう、新たに県単の補助制度を創設するなど、少子化対策も充実します。

保育所等への運営費の給付	8,720,000千円（別冊99頁）
小規模保育等への運営費の給付	1,060,000千円（別冊99頁）
多様なニーズに対応した子育て支援	1,866,000千円（別冊99頁）
事業所内保育所整備補助事業【新規】	20,000千円（別冊100頁）
認定こども園施設整備事業	1,070,000千円（別冊101頁）
保育所緊急整備事業	2,135,000千円（別冊101頁）
保育所整備促進事業	1,000,000千円（別冊101頁）
保育士配置改善事業	437,000千円（別冊102頁）
保育士人材確保等事業【一部新規】	24,870千円（別冊103頁）
放課後児童健全育成事業	1,775,000千円（別冊104頁）
放課後児童クラブ施設整備事業	200,000千円（別冊104頁）
放課後子供教室推進事業	106,107千円（別冊105頁）
子ども医療費助成事業	6,700,000千円（別冊106頁）
保健師等による妊婦全戸訪問事業【新規】	20,000千円（別冊107頁）
人口減少・少子化に関するセミナー	1,000千円（別冊108頁）
ちば マイ スタイル ダイアリー事業	19,000千円（別冊109頁）

《児童虐待防止等》

児童虐待の未然防止・早期発見や虐待後のフォローアップの充実のため、**児童相談所職員を増員**します。また、一時保護児童数が増加している**柏児童相談所**の環境改善のため、緊急的に**保護所棟を増設**します。その他、児童養護施設を退所した児童等が社会的に自立できるよう、**新たに生活資金等の貸付や就職支援等を行います**。

児童相談所職員の増員（児童福祉司 2人 児童心理司 1人）

柏児童相談所一時保護所増設事業【新規】 5,610千円（別冊110頁）
（債務負担行為 63,000千円）

児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業【新規】 261,000千円（別冊111頁）

児童虐待防止対策事業【一部新規】 150,000千円（別冊112頁）

《子どもの学力向上・いじめ防止対策》

児童・生徒の学力向上のため、放課後学習等を行う**学習サポーターの配置校を拡充**するとともに、外国語指導助手による授業や海外留学への支援、県内高校と外国の高校との交流強化など、**国際的に活躍できる人材の育成**を推進します。

また、いじめの根絶に向け、**小学校のスクールカウンセラーを増員**するとともに、社会福祉の視点から支援を行う**スクールソーシャルワーカーも増員**し、全ての児童・生徒が安心して学習等に取り組むことのできる体制づくりを進めます。

ちばっ子「学力向上」総合プランの推進 167,073千円（別冊113頁）

国際的に活躍できる人材の育成 262,657千円（別冊114頁）

学校におけるいじめ防止対策の推進 767,239千円（別冊115頁）

《高校再編・特別支援学校の整備》

佐倉西高校の福祉コース、小金高校の総合学科、印旛明誠高校の単位制の充実など、魅力ある学校づくりを進めるための施設整備を進めます。

また、**特別支援学校**の児童生徒の増加に伴う過密化・教室不足に迅速に対応するため、中学校の空き校舎を活用した**新設校の整備**などを進めます。

高等学校再編事業 490,000千円（別冊116頁）
（債務負担行為 539,000千円）

特別支援学校整備事業 1,257,800千円（別冊117頁）

《私学助成》

私立学校経常費補助については、国の標準単価に上乗せする県単独の補助単価を拡充し、高等学校では18,500円、幼稚園では4,600円とします。

私立学校経常費補助事業

34,535,977千円（別冊118頁）

医療・福祉の充実

《医師・看護師確保》

医師不足の解消のため、**医師修学資金の貸付枠を拡充**するとともに、特に不足している**産科医確保**のため、産科医志望者については、**新たに貸付額の加算**を行います。また、**県内自治体病院への医師派遣**を、5名から12名に増員します。

その他、成田市に新設が認められた**大学医学部**については、県内の医師確保に大きな効果が見込まれることから、支援を行います。

看護師については、**修学資金の貸付枠を60名拡充**するとともに、病院内保育所や看護師養成学校への支援を継続して行います。

医師修学資金貸付事業	438,900千円（別冊119頁）
医師不足病院医師派遣促進事業	120,000千円（別冊120頁）
医学部設置支援事業【新規】	1,300,000千円（別冊121頁） (債務負担行為 2,200,000千円)
保健師等修学資金貸付事業	281,392千円（別冊119頁）
病院内保育所運営・施設整備事業	481,780千円（別冊122頁）
看護師等養成所運営費補助	329,370千円（別冊123頁）
看護師養成学校整備促進事業	922,613千円（別冊123頁）

《救急医療体制の充実》

新たに、東京女子医大八千代医療センターを**救命救急センター**に指定することとし、**運営を支援**していきます。また、子ども医療の充実のため、これまで午後10時までとしていた**小児救急電話相談**を翌朝6時まで延長します。

救命救急センター運営費補助、施設設備整備費補助	841,987千円（別冊124頁）
小児救急電話相談事業	82,000千円（別冊125頁）

《中核病院の整備》

地域において、特殊医療や中核的医療機能を担っている**松戸市立病院**について、**建替に対する補助を大幅に増額**するとともに、新たに**地域周産期母子医療センター**に認定し、**運営を支援**していくことで、妊娠・分娩時の母子の安全を確保します。

また、**千葉県がんセンター増改築の実施設計**を行うとともに、**救急医療センターと精神科医療センターの建替**に向けた**基本計画の策定**に着手します。

地域中核医療機関整備促進事業	664,905千円（別冊126頁）
周産期医療施設等運営費補助、施設設備整備費補助	825,629千円（別冊127頁）
がんセンター施設整備事業	特別会計病院事業 385,758千円（別冊128頁）
救急医療センター等整備基本計画策定事業【新規】	特別会計病院事業 30,000千円（別冊129頁）

《新型インフルエンザ対策》

新型インフルエンザ対策として備蓄しているタミフルが更新期限を迎えるため、新たな**抗インフルエンザウイルス薬**を購入します。

新型インフルエンザ対策事業	510,898千円（別冊130頁）
---------------	-------------------

《高齢化対策》

高齢化の進展に対応するため、**特別養護老人ホーム**については、支援を充実し整備床数を拡充するとともに、介護事業所等と連携した**サービス付き高齢者向け住宅**への県単補助も対象を拡大して整備を促進していきます。また、24時間体制の「**定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス**」を全県に向けて展開していくため、新規開設時の運営費補助を増額し、住み慣れた在宅での生活を支えています。

急務となっている**介護人材の定着・確保対策**として、新たに初任者研修費用の助成や、介護現場のイメージアップ啓発などに取り組むとともに、有資格者の再就職も支援していきます。

老人福祉施設整備事業補助	2,715,000千円（別冊131頁） (債務負担行為 6,739,000千円)
介護基盤整備交付金事業	1,700,000千円（別冊132頁）
特別養護老人ホーム等の開設準備支援事業	1,119,000千円（別冊133頁）
サービス付き高齢者向け住宅整備補助事業	280,000千円（別冊134頁）
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス支援事業	40,000千円（別冊135頁）
介護人材確保対策事業	177,700千円（別冊136頁）

《社会保障費》

高齢者の医療費軽減や障害者の介護サービス、医療費の公費負担などを行うための**社会保障費**については、**前年度に比べ約112億円増**の2,668億円を確保しました。

社会保障費	266,793,688千円
-------	---------------

環境・文化施策の推進

《環境》

省エネルギーの推進を図るため、引き続き**住宅の太陽光発電設備や家庭用燃料電池（エネファーム）**などの設置に対する助成を行うとともに、新たに、**地中熱利用システム**の設置に対する助成を始めます。また、生活排水対策として、市町村が行う、**合併処理浄化槽への転換や高度処理型合併浄化槽の設置を促進**する事業への助成を継続します。

平成38年度までに廃棄処理が義務付けられている**PCB廃棄物の実態調査**を行い、期限までの計画的な処理を進めます。

生態系や農林水産業等への影響が懸念されるアカゲザルやカミツキガメなどの**特定外来生物の生態調査や捕獲**を強化します。

緑豊かな住みよい環境づくりを推進するため、6月に第27回全国「**みどりの愛護**」のつどいを開催します。

住宅用省エネルギー設備等導入促進事業	520,000千円（別冊137頁）
生活排水対策浄化槽推進事業	300,000千円（別冊138頁）
県内PCB使用製品及びPCB廃棄物に係る掘り起こし調査【新規】	15,000千円（別冊139頁）
外来種特別対策事業	48,461千円（別冊140頁）
全国「みどりの愛護」のつどい開催事業	140,570千円（別冊141頁）

《文化》

6月には、「**県民の日**」**中央行事**を幕張メッセで開催するとともに、10月～12月には、**現代産業科学館で、特別展「もっと・ずっと・千葉の鉄道」（仮称）**を開催し、明治以来、本県の発展を支えてきた「千葉の鉄道」の歴史や魅力について展示・解説を行うなど、幅広い世代の方がふるさと千葉の魅力を再発見できる機会を提供していきます。

「県民の日」事業	60,000千円（別冊142頁）
現代産業科学館特別展の開催	13,716千円（別冊143頁）